

## 若宮校区まちづくり集会 開催結果報告書

|      |                           |       |        |
|------|---------------------------|-------|--------|
| 開催日時 | 平成23年7月26日(火) 19:00～21:00 |       |        |
| 場所   | 若宮公民館                     |       |        |
| 参加者数 | 男 33人                     | 女 19人 | 合計 52人 |



### 1. 新居浜市連合自治会設定共通課題

課題名 ( 地域防災力の向上について )

[質問事項]

新居浜市では、地震や大雨による河川の氾濫などの防災対策として、ハード面では、公民館等の公共施設に防災行政無線の整備や、避難所となる小中学校などの公共施設の耐震補強、急傾斜地のがけ崩れ防止などの工事が進められ、ソフト面では、総合防災訓練の実施や単位自治会での自主防災組織結成啓発や防災リーダー研修による自主防災組織の育成強化及び避難訓練、また、自治会内での災害時要援護者リストの整備、小中学生を対象とした防災教育などが実施され、防災に向けて動きがあるように感じますが、東南海・南海地震の発生が危ぶまれている今、今後、自主防災組織を効果的に活用し、災害による被害を最小限に食い止めるためには、地域住民が、防災に関する正しい指標をもつ必要があるのではないか。

ア) 案外、津波に対する被害想定を軽く思う人がたくさんいると思われるが、市としてはどのように考えているのか。また、津波ハザードマップを定めている自治体はたくさんあるが、津波ハザードマップの整備は進められているのか。中央防災会議の点

も踏まえてお聞かせ願いたい。

- イ) 今回の震災のなかで、命を落とさずに済んだ人のことをボランティア等から聞くと、洪水標識版が設置されていたとのことである。新居浜市では、洪水標識板の設置は検討されているのか。

[回答 市長]

東日本大震災以前の、中央防災会議においては、南海地震単体を想定しており、その場合、マグニチュード8.4 新居浜では、震度5弱から6弱、津波の高さは2メートルと想定されていました。満潮時が1.6メートルなので、地震によって40センチほど上がるということです。堤防が3メートルありますので、津波が来ても浸水しないという想定です。

また、堤防が決壊して、何もさげぎるものがないという場合には、若宮校区では、0.5～1メートルの想定を、今までのところしていました。防災行政無線を公民館と双方向でつなぎ、保育園等にはスピーカーをつけるようにしています。ただ、スピーカーだけでは、市内全域に声が届かないので、調査をし、自治会の広報塔を使わせてもらって、市の本部から一斉送信できるシステムを、今年から作っていきます。全部の広報塔ではありませんが、市の無線をつけて、市のほうで操作できる仕組みを、今年から作ってまいります。

民間企業と協定を結び、大地震発生時に食糧支援などができるよう取り組んでいます。急傾斜・土石流危険箇所については、平成16年以降、ほぼ60か所の改修を行いました。全体的には改修できていないところもございます。

津波の被害想定を見直すことは、国の中央防災会議で行われると思います。それを受けて、各県・市が、見直しを行います。

きめ細かな、津波ハザードマップの作成は行われておりません。堤防が決壊した場合の津波浸水予測図は作成されていますが、それ以上のものは、今はありません。津波、地震の想定をもう一度見直すとのことなので、それに基づいたハザードマップの整備が必要であると思いますし、津波浸水についていえば、今の段階でも可能性のある地域から対処していかないといけないし、山でいえば土砂災害のマップとか、新居浜市においても、地域にあったものが必要だと思えます。これからの取り組みになります。

洪水標識板の設置もこれまでのところ、できておりませんでした。掲示板については、見直しと同時に、どの範囲まで等、大きな判断基準を作りながら、やっていきたいと思っております。

見直しを行ったうえで、必要などころから取り組んでいきたいということで、ご理解をいただきたいと思えます。

## 2. 校区設定市政課題

課題名（ 若宮保育園の建て替えについて ）

[質問事項]

若宮保育園の建て替えについては、移転せずに、若宮校区に置いていただけたことは、市当局の皆さまに感謝します。

ただ、立地について、どういう形で作るかということについては、何とも賛成しがたく、校区の役員は説明を聞いていますが、ここに参加されている住民の方は、何も聞いていないので、若宮保育園をどういうふうに建てられるのか、説明をお願いしたい。

[回答 市長]

若宮保育園は、昭和35年に建設された公立保育所であり、築後50年が経過し、傷みが激しいため、早く建て替えたいということで、平成15年から協議を進めてまいりました。しかし、平成16年の災害後、災害復興を最優先するなかで、すべての事業を3年ほど、先送りさざるを得なかったということが、背景の一つとしてあります。

その後、市が設置し、有識者で構成される「福祉のまちづくり審議会」において、慈光園、東新学園、若宮保育園、若水乳児園の建て替え優先順位を審議していただき、まず、慈光園ということで、慈光園の建て替えに取りかかり、今年6月に完成しました。慈光園の次に保育所ということで、決定をいただいております、若水乳児園も、若宮保育園と同時期に建設されており、それぞれ定員が45人ずつで、小規模の保育所であったため、一つにまとめたいという考えもありました。そのため、若宮保育園を存続させて、若水乳児園の定員も追加しようということになりました。

今年度には設計をしたいということ、昨年末頃に決定しましたが、若宮保育園、若水乳児園を一つの場所に建てていくにあたり、将来的なことも考え、若宮小学校の全体的な面積から考えると、保育所立地が可能であるという判断を、今年の年明けにして、市3月議会の予算のなかで、保育所設計の予算を計上しました。これが、建物を小学校の中に建設決定までの経緯でございます。

その後、予算成立後、実際に、小学校運動場内に、どのように保育所の建物、園庭を配置するかということ、担当課、学校教育課、建築課で協議し、学校教育のなかでのグラウンドに影響がなるべく少ないものにしよう、トラックの位置、ソフトボールの距離等を考えて、第1案を決定し、若宮校区連合自治会の方にお伝えしました。公民館東側に建物本体を建設し、公民館南側に園庭という、L字型のような案でした。

しかし、この第1案では、公民館と小学校の間に保育所があつて、連携が不自由になったり、使い勝手の問題もあり、地元の方から、レイアウトについて考え直していただきたいというご提案をいただいて、持ち帰り、担当課等において協議し、公民館南側に駐車場、その横に、建物本体、その横に園庭という形で、第2案を作成し、説明させていただきました。その結果、自治会の方からも、この案であれば、いいのではないというご回答をい

ただいていますが、住民の方全員がご存じではないので、改めて、この第2案で、保育所の建設を行わせていただきたいと思います。学校関係者、教育委員会含めて、この案の合意をいただいております、この案を進めていきたい、具体的な設計に入っていきたいところが、今の状況です。

[質問事項]

- ア) 子どもは、どこで降りるのでしょうか。
- イ) 駐車場は、何台くらい置けるのでしょうか。

[回答 市長]

子どもは、時間的には朝7時頃から9時までの間が、子どもの来る時間なので、公民館の中を通過して、南側に、子どもの送迎用の駐車場を確保します。10台置けるように考えています。公民館ご利用の方よりも、保育所利用の子どもの方が早いと思います。また、日曜日などは、駐車場の共用も可能と思います。

[質問事項]

駐車場は10台程度ということでしたが、約100名の児童が来られると思います。雨天時等に、生活道路に車があふれる恐れがあります。小学生、地元の住民に対して、交通事故の恐れがあるのではないかと懸念しております。また、公民館の敷地を通過して、駐車場に行くということと言われていましたが、公民館等で、いろいろ問題が生じる恐れがあるように思われますが、そのあたりはいかかでしょうか。

[回答 市長]

市内の保育所の駐車場は、少ないところで6台ほどです。駐車場は乗り降りだけですので、今の公立保育所の実態から申し上げますと、時差がありますから、可能ではないかと思っております。また、道路沿いに車を停めて、連れていく可能性の問題もありますけれど、それは、保護者の方に、道路で駐車しないようにということを、よく周知して、対応していくことを考えております。

[質問事項]

公民館の中を通過して、駐車場に向かうということなので、公民館で、十分な駐車スペースが確保できるのか、問題ないでしょうか。

[回答 市長]

大体、午前8時から8時半が、保育所駐車場利用のピークです。早い方は7時半頃です。夕方は午後4時から6時頃までの間で、子どものお迎えに来られますが、すべてにおいて、

公民館利用の方と、重なることはございません。すべてに集中して来られるわけではありません。

[意見]

これは、地元側が、どのように対処していくか考えるということにしたので、よいのではないのでしょうか。

第2案が、ぎりぎりの妥協できる案なので、この案でお願いしたいと思います。第2案がいい理由は、小学校、公民館、保育園がきれいに並んでいて、どこからでも行けるということです。第1案では、夏祭りなどの時に、公民館からグラウンドにすぐに行けず、大回りになります。今後、高齢者が増えてきて、公民館は、高齢者の拠点になります。高齢者にとっても、第2案のほうが便利です。駐車場は、小学校の教員の駐車場も借りることができます。単に、子どもの送迎のときだけの駐車場です。小学校の存続等、いろいろ考えた場合に、第2案以外のものは考えられないのではないかと思います、みなさん、どうでしょうか。

(拍手)

[意見]

公民館の駐車場を経由して進入するという複雑な問題もあります。自治会のほうでもいい案を提案して、事故のないように、進めていくしかないと思っておりますので、ご了承ください。

[質問事項]

今の若宮保育園の駐車場の跡地について、新田老人会の責任のもとに、使用者の不自由にならない範囲で、保育園駐車場の跡地を使わせていただくことはできないのでしょうか。

[回答 市長]

保育園敷地については、建物もなくなります。現在、小学校の先生が置いている駐車場もなくなりますので、教職員の駐車場としては、確保したいと思っております。それ以外の敷地につきましては、基本的には、地域にとって有効な利用となるように考えて結構だと思っております。他の地域でも行われていますが、自治会と管理協定みたいなものを結ばせていただく等、話し合いを自治会とさせていただいて、敷地の有効な利用を、一緒に考えさせていただけたらと思っております。

### 3. 地域課題

課題名（ 王子アパートのイノシシ問題 ）

[質問事項]

全国的に、イノシシ被害は、農業だけでなく、人的被害も、ニュースで耳にしますが、新居浜市も例外ではないと思っています。王子アパートの周りは、山に囲まれた状態となっており、山からの動物の侵入はいくらでもできる状態になっています。対策として、アパートの周りに防護ネットを張っているが、バレーボールのネットのようなものですので、イノシシはいくらでも入ってこれる状態です。今のネットは、あまり効果が得られていない状況です。夜間のみならず、昼間も、イノシシと遭遇することもあり、子どもと遭遇して、接触するようなことがあれば、最悪な場合は死亡事故になってしまうような状態になっていますので、市のほうで、具体的な対策を施していただきたい。

ア) イノシシ専用の捕獲箱を早急に設置していただきたい。捕獲箱のえさについても、十分な対応をとっていただきたい。

イ) 防護ネットについては、今のネットは効果が薄いので、頑強なネットに張り替えていただきたい。

[回答 市長]

イノシシは、新居浜市内の山周辺全域に、出ています。被害状況を聞きながら、猟友会による駆除が妥当と判断した場合に、駆除の許可を出し、猟友会が猟犬を使ったり、銃を使ったり、罠を使ったり等の方法で、駆除をしていただいています。22年度の4月から10月、河北山全体では、銃器による捕獲14頭、くくり罠による捕獲9頭、箱罠による捕獲3頭、その他捕獲1等、合計で27頭の駆除をしております。平成22年11月15日から平成23年3月15日までの狩猟期間中におきましては、くくり罠による捕獲30頭、箱罠による捕獲17頭、その他捕獲14頭、合計61頭捕獲しております。また、ボランティアによる草刈りや環境整備も必要であると思っております。ただ、現在の新居浜市の猟友会の人数からすると、これ以上の捕獲は厳しいというのが現状です。そのため、必要であろうというところから、駆除に入らせていただいている状況です。実際には、罠による捕獲のほうが多くなっております。人が踏み入ったりできないような場所にいるようですので、追いかけていくのにも限界があります。一番効果がでるように、罠の補充、また、適正な配置をお願いしているところです。防護柵ですが、元々、農作物を守るということが目的でして、農作物を守るための防護柵を、農業者が設置する場合に、農林水産としての補助があります。街中にイノシシ等が出てくるための防護柵は、事業としては実施できておりません。その他有効な対応については、お配りする鳥獣被害対策のパンフレットにいろいろな事例がありますので、その中で紹介をさせていただきたいと思っております。